

冬山登山の事故防止に関する通知における高校生等に関する記載

昭和38年度以前

(高校生等に関する記載はない)

昭和39年度(昭和39年12月16日通知の抜粋)

調査の結果によると事故者の50%以上が学生であることが明らかになっている。ことに最近は大学山岳部の事故が相つぎ多数の犠牲者を出している実情にかんがみとくに登山の一般的注意を厳守することはいうまでもなく、事前に計画書を学校に提出し、指導、指示をうけるとともに、実行にあたっては成年にありがちな血気にはやつて経験や技術、体力を無視した危険な登山をしたり、競争意識による無謀な山行をしないよう現に戒めること。なお、高校生の冬山登山はやめること。

昭和40年度(昭和41年1月6日通知の抜粋)

高等学校生徒の年令では技術的にも体力的にも、また経験によって得られる判断力の点からいっても冬山における安全を確保することは、はなはだ困難である。高等学校登山(山岳)部の活動は、夏山を中心に行うべきで、冬期積雪期における登山については、経験豊富なよき指導者のもとで高さを求めず安全の確保ができる場所で、基礎的技術の登山訓練にとどめるべきである。この場合、事前に計画書を学校に提出させ、指導、指示をうけることはもちろんである。高等学校生徒の登山(山岳)部以外の山岳団体に所属する生徒についても上記に準じて指導するものとする。前項にのべたいづれの登山(山岳)部および団体に所属していないものは、冬山登山はやめるべきである。

昭和41年度から昭和51年度(※)(昭和51年11月30日通知の抜粋)

高等学校生徒については、技術、体力、経験等の面からみて冬山における安全を確保することは極めて難しいので、原則として冬山の登山は行わず、又冬山登山を行う場合にも、学校及び保護者の了解のもとに、指導者、その他の条件を整えた上で安全な場所での基礎的訓練の範囲にとどめよう。

昭和52年度から平成28年度(※)(平成28年11月28日通知の抜粋)

高校生及び高等専門学校生(1年生から3年生まで)以下については、原則として冬山登山は行わないようご指導願います。

(※) 当該期間における通知においては、上記に掲げた文面とほぼ同様の内容が記載されている。

過去の主な高校等及び大学の山岳部等の遭難事故

スポーツ庁調べ

昭和25(1950)年12月 [佐野高校山岳部雪崩事故（谷川岳/西黒沢尾根）](#) 5名死亡

昭和26(1951)年 5月 法政大学山岳部崩落事故（谷川連峰/一ノ倉沢） 4名死亡

昭和29(1954)年11月 日大/慶応大山岳部・東大スキー山岳部雪崩事故（富士山） 15名死亡

昭和29(1954)年12月 [戸山高校山岳部遭難事故（北アルプス/西穂高岳）](#) 3名死亡

昭和32(1957)年 3月 明治大学山岳部雪崩事故（北アルプス/白馬鑓ヶ岳） 5名死亡

昭和33(1958)年12月 慶応大学山岳部雪崩事故（北アルプス/中岳） 4名死亡 ※他日大山岳部2名死亡

昭和33(1958)年12月 早稲田大学山岳部雪崩事故（北アルプス/明神岳） 4名死亡

昭和34(1959)年10月 東大山岳部他雪崩・遭難事故（北アルプス/北穂高岳） 8名死亡

昭和34(1959)年12月 立命館大学山岳部雪崩事故（北アルプス/劔岳） 6名死亡

昭和34(1959)年12月 専修大学山岳部雪崩事故（北アルプス/槍ヶ岳） 6名死亡

昭和35(1960)年11月 早大/東京理科大学山岳部他雪崩事故（富士山） 11名死亡

昭和36(1961)年 1月 富山大学山岳部遭難事故（北アルプス/赤谷山） 6名死亡

昭和37(1962)年11月 成城大WV部遭難事故（南アルプス/間ノ岳） 4名死亡

昭和37(1962)年12月 北海道学芸大学函館分校山岳部遭難事故（大雪山系/旭岳） 10名死亡

昭和38(1963)年 1月 愛知大学山岳部遭難事故（北アルプス/薬師岳） 13名死亡

昭和39(1964)年 1月 [大館鳳鳴高校山岳部遭難事故（岩木山）](#) 4名死亡

昭和40(1965)年 3月 北海道大学山岳部遭難事故（日高山脈/カムイエクウチカウシ山） 6名死亡

昭和42(1967)年 4月 [山形市立商業高校山岳部遭難事故（朝日連峰）](#) 3名死亡

昭和42(1967)年 8月 [松本深志高校遭難事故（北アルプス/西穂高岳）](#) 11名死亡

昭和45(1970)年12月 同志社大/中央大他天狗平遭難事故（北アルプス/天狗平） 7名死亡

昭和52(1977)年 3月 [都立航空高専山岳部遭難事故（中央アルプス/将基頭山）](#) 7名死亡

昭和55(1980)年12月 [逗子開成高校山岳部遭難事故（北アルプス/八方尾根）](#) 6名死亡

昭和57(1982)年 4月 [関西大倉高校山岳部滑落事故（ハヶ岳/赤岳竜頭峰付近）](#) 2名死亡

平成 5(1993)年 2月 早稲田大学山岳部遭難事故（北アルプス/劔岳） 3名

平成21(2009)年 4月 京都府立大山岳部遭難事故（北アルプス/鳴沢岳） 3名死亡

平成22(2010)年 8月 東京理科大学ワングル部遭難事故（日高山脈/中ノ川） 3名死亡

平成29(2017)年 3月 [栃木県高校山岳部春山登山講習会雪崩事故（那須）](#) 8名死亡

表1 概要

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
										発生件数	構成比
発生件数(件)	1,484	1,631	1,676	1,942	1,830	1,988	2,172	2,293	2,508	2,495	
遭難者数(人)	1,808	1,933	2,085	2,396	2,204	2,465	2,713	2,794	3,043	2,929	100.0%
死者・行方不明者	259	281	317	294	275	284	320	311	335	319	10.9%
死者	233	253	269	262	244	249	278	272	298	278	9.5%
行方不明者	26	28	48	32	31	35	42	39	37	41	1.4%
負傷者	666	698	670	832	819	927	1,003	1,041	1,151	1,133	38.7%
無事救出者	883	954	1,098	1,270	1,110	1,254	1,390	1,442	1,557	1,477	50.4%



注:「遭難者数」には、昭和51年から無事救出者を含む。

表6 年齢層別山岳遭難者(死者・行方不明者)

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	人数		人数		人数		人数		人数	構成比
20 歳 未 満	2				3		3		4	1.3%
20 ～ 29	7		5		7		10		12	3.8%
30 ～ 39	20		22		13		15		13	4.1%
40 ～ 49	19		32		36		30		28	8.8%
50 ～ 59	41		57		36		43		46	14.4%
60 ～ 69	89		98		97		107		101	31.7%
70 ～ 79	80		81		85		86		76	23.8%
80 ～ 89	25		23		29		35		36	11.3%
90 歳 以 上			2		3		6		2	0.6%
不 明	1				2				1	0.3%
合 計	284		320		311		335		319	100.0%

